

授業科目名・形態	ソーシャルワーク演習Ⅱ	演習	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	林 宏二 脇山園恵	開講期	2年後期	単位数	1

【授業の主題】

総合的かつ包括的な援助技術および地域福祉の基盤整備と開発にかかわる具体的な援助について、事例等を活用して理解を深め、ソーシャルワーク実践過程について、ソーシャルワーカーの専門性、社会資源や他職種・他機関や団体、また地域との連携等についての理解を深める。

【到達目標】

- 1) ソーシャルワークの展開過程と規範・知識・諸技術・視点について習得できる。
- 2) 事例に関連した用語の定義や制度・施策、また事例検討の焦点に応じた相談援助にかかる専門的知について理解を深めることができる。
- 3) 現場実践についての理解を深め、生活問題・社会問題とそれへの対応や予防についての具体的な考察ができる。

【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーション、グループ決め
- 第 2回 ソーシャルワーク実践の展開
- 第 3回 事例検討の目的と方法、プレゼンテーション技法
- 第 4回 事例学習 ～低所得者に対する援助の事例検討～
- 第 5回 事例学習 ～ホームレスに対する援助の事例検討～
- 第 6回 事例学習 ～児童虐待に対する援助の事例検討①～
- 第 7回 事例学習 ～児童虐待に対する援助の事例検討②～
- 第 8回 事例学習 ～高齢者虐待に対する援助の事例検討①～
- 第 9回 事例学習 ～高齢者虐待に対する援助の事例検討②～
- 第 10回 事例学習 ～家庭内暴力に対する援助の事例検討①～
- 第 11回 事例学習 ～家庭内暴力に対する援助の事例検討②～
- 第 12回 事例学習 ～その他の危機状態にある相談援助事例①～
- 第 13回 事例学習 ～その他の危機状態にある相談援助事例②～
- 第 14回 各事例の固有性と共通性について整理、目標と支援計画作成
- 第 15回 演習のまとめ ～各自の学びと達成状況に関する自己評価～

【授業実施方法】

演習

【授業準備】

関連する科目で学んだ講義内容を再確認しておくこと。

【主な関連する科目】

ソーシャルワーク論、ソーシャルワーク演習

【教科書等】

日本社会福祉士養成校協会『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版

【参考文献】

その都度紹介する。

【成績評価方法】

平常点 10%、レポート 30%、事例発表等 60%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

【学生へのメッセージ】

新聞・テレビ等で報道される社会の様々な問題に対して普段から関心をもってもらいたい。実際の援助場面を想定した参加型授業形態なので積極性を発揮してもらいたい。